



マイM E - B Y Oカルテの取組 ～これまでの成果と今後の展開～

神奈川県 総務局 デジタル戦略本部室



1 「マイME-BYOカルテ」とは

「マイME-BYOカルテ」とは

- 平成28年3月～
「個人の健康等情報」を扱う「PHR」の仕組みとして構築
※当初はWebブラウザ版としてスタート

PHR：個人の健康診断結果や服薬歴等の健康等情報を電子記録として
本人や家族が正確に把握するための仕組み。
- 平成29年4月～
スマホアプリ版を構築・ストア公開
- 平成30年11月～
ME-BYO online（LINE）開設

「マイME-BYOカルテ」スマホアプリ

- 自分の健康情報を、パソコンやスマートフォンで一覧化し、管理できるアプリケーション



歩数、体重、血圧などのバイタルデータや健診結果、お薬情報、災害時に必要になる項目

現在の「マイME-BYOカルテ」



マイME-BYOカルテ



お薬情報

健診結果

歩数・血圧・体重等
(日々の健康情報)

成人の健康・
バイタルデータ

アレルギー情報

子どもの健康・
バイタルデータ

既往歴

予防接種歴

災害時に必要となる情報
(人工透析の有無等)

民間アプリ等

マイナ
ポータル

健康情報
アプリ

母子健康
アプリ

Etc.

個人の健康情報

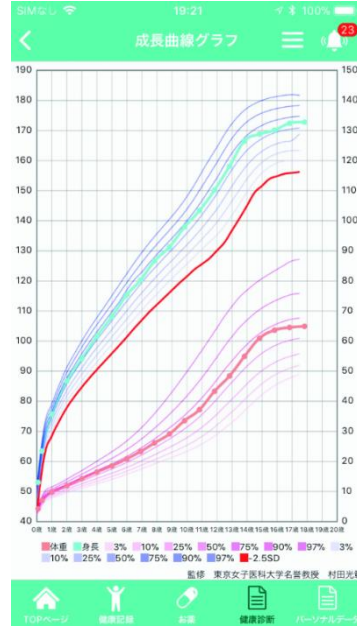
予防接種
データ

成人の健康・
バイタルデータ

子どもの健康・
バイタルデータ

健診データ

ライフログとしての「マイME-BYOカルテ」



生まれてから（生まれる前から）の**生涯にわたる健康情報の記録**

2 これまでの取組・成果

様々なアプリ（企業）との連携実績 ～ 累計23アプリ



「母子モ」
(株式会社エムティーアイ)



「子育てモバイル」
(株式会社ミラボ)



「母子健康手帳アプリ」
(ひまわりの会)



「リンクロス アルク」
(SOMPOひまわり生命保険株式会社)



「QUPiO Plus」
(SOMPOヘルスサポート株式会社)

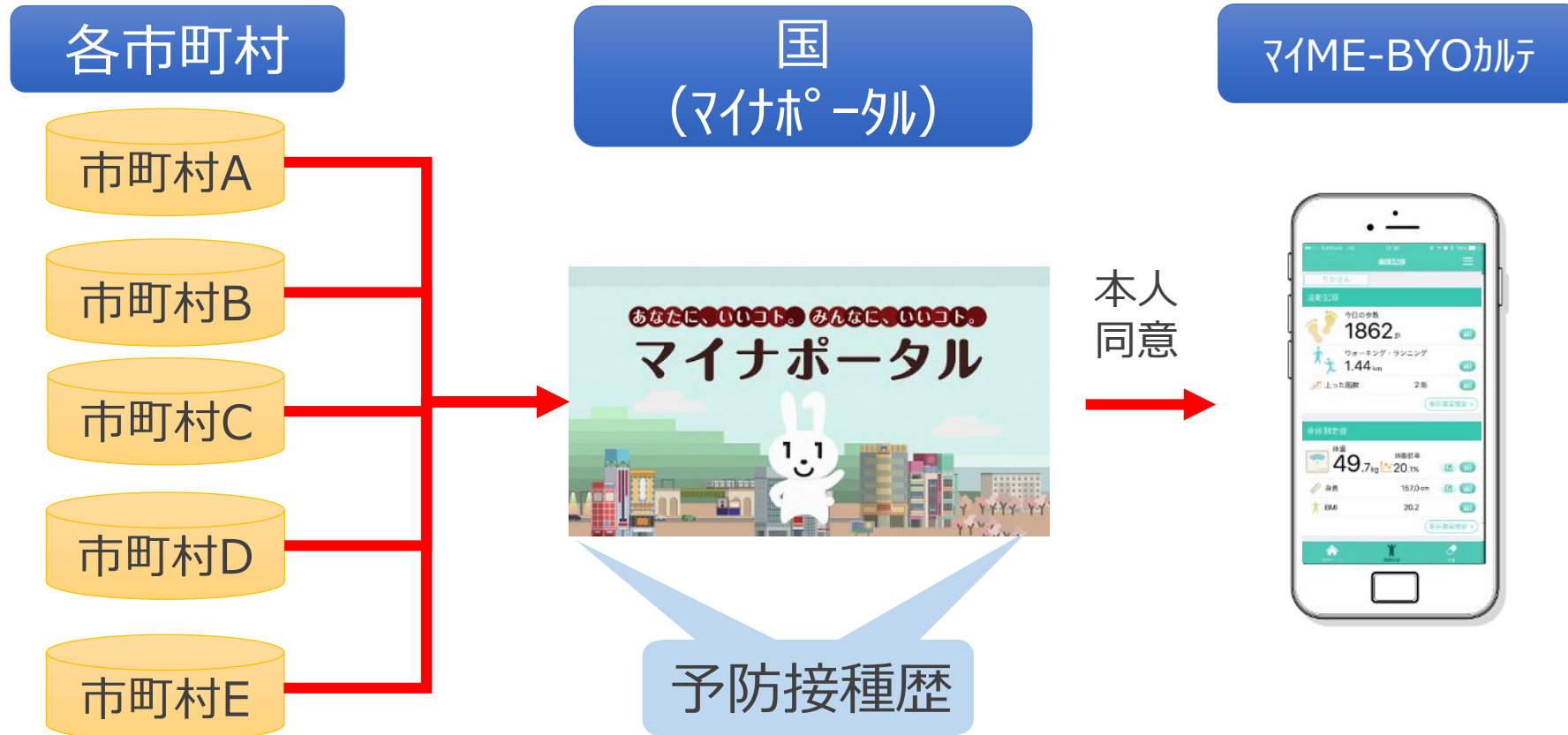


「マイナポータル」
(内閣府)



「オムロンコネクト」
(オムロンヘルスケア株式会社)

マイナポータルとの連携開始（令和元年11月 全国初）

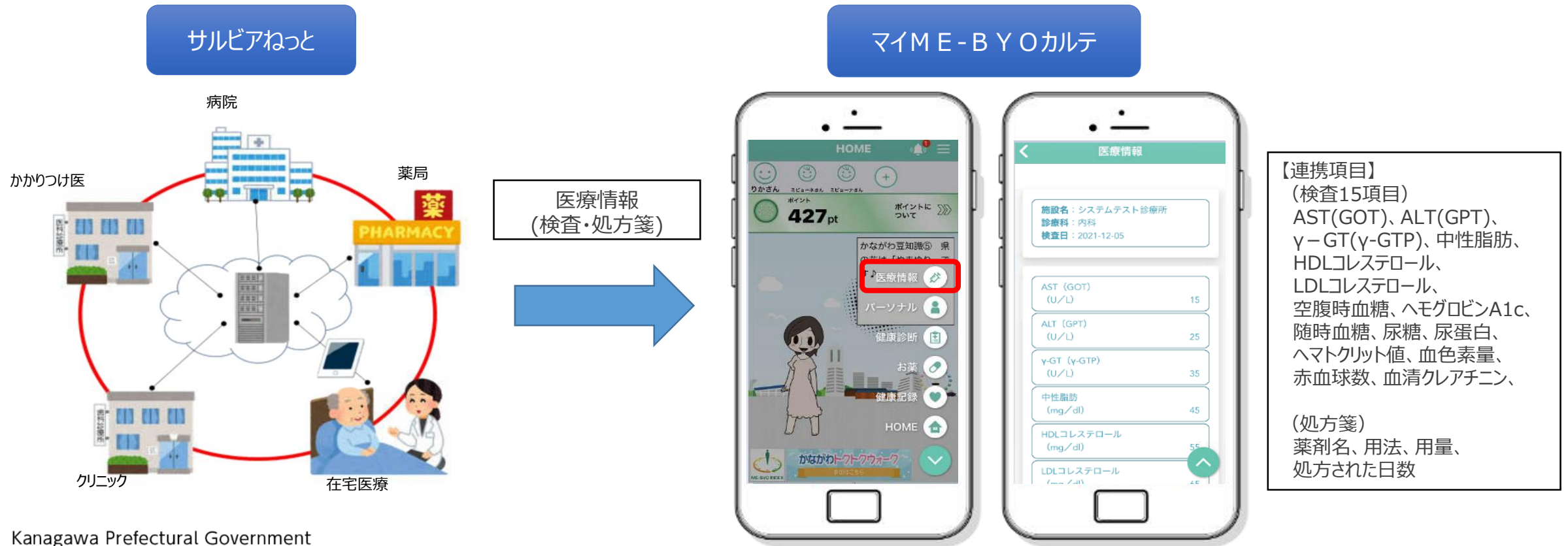


マイナポータルAPIを通じて市町村が保有する予防接種歴等を**自動取得**

R元年 **Android版**での**予防接種歴**の自動取得を実装
R2年以降 **iPhone版**への実装拡大
特定健診結果・乳幼児健診結果に対応

「サルビアねっと」とのデータ連携（R4年2月～）

- ・ 地域医療介護連携ネットワーク「サルビアねっと」に参加する方の血液・検体検査、処方箋の医療情報が、自動で「マイME-BYOカルテ」に記録され、いつでもどこでも自身のスマートフォンで閲覧可能に。
- ・ 地域医療介護連携ネットワークに参加していない医療機関等を受診する場合でも、自身の医療情報を正確に伝えることができる。



「電子母子手帳」(H28.9~)



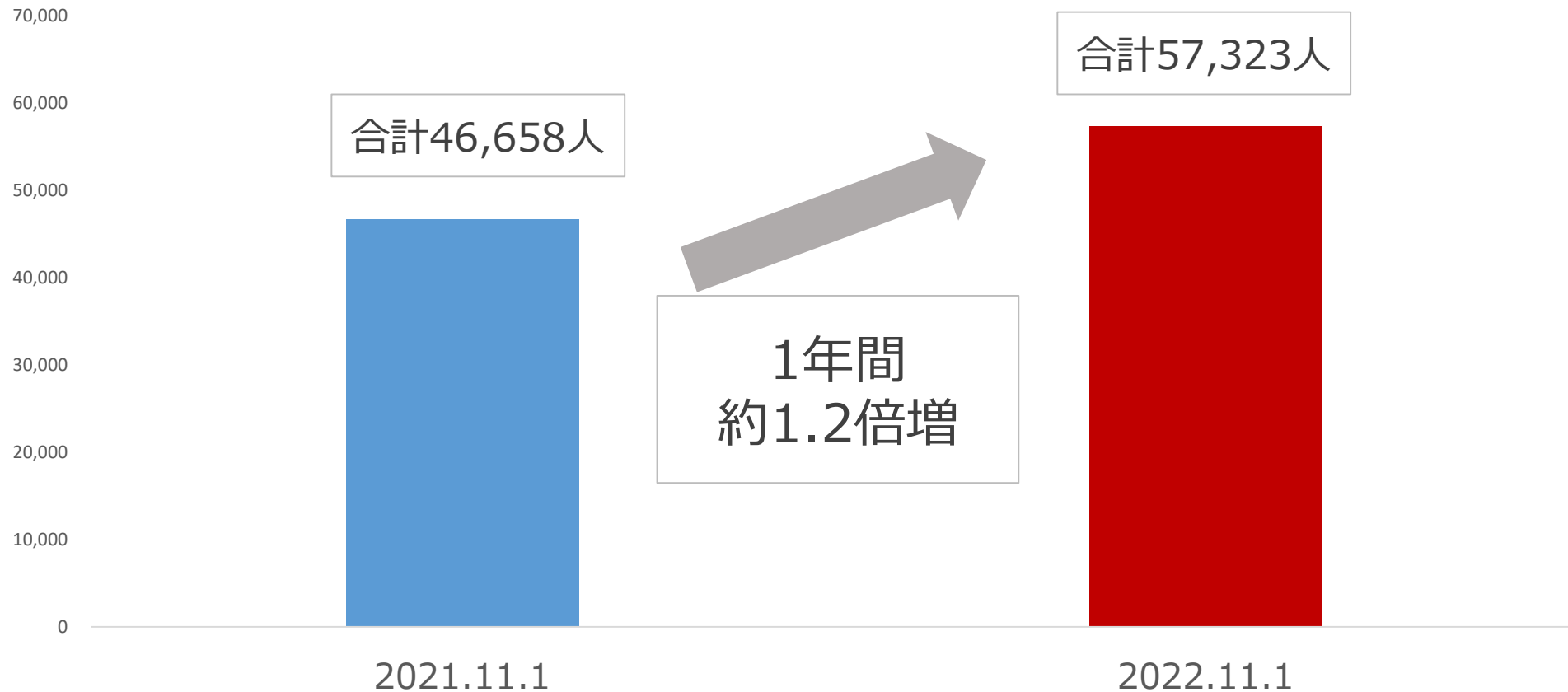
- 役立つ3つのポイント
- point1 発育曲線の自動グラフ化!
 - point2 予防接種の予定立て&管理もラクラク!
 - point3 家族との共有機能で育児が楽しい!

- 乳幼児健診や予防接種歴、妊婦・出生情報などを記録できるアプリ
- 市町村から子育てに関する**お知らせ配信、発育曲線のグラフ化**
→ 記録した健康データは**マイME-BYOカルテに自動で反映**
- **県内27市町と連携**して運用中

(相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、秦野市、大和市、伊勢原市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町)

県内の「電子母子手帳」の状況

神奈川県内の電子母子手帳アプリの登録数



(「母子モ」登録数より参考数値)

- ・ 連携市町の窓口等での広報や登録促進を実施

マイME-BYOカルテと連携する電子母子手帳の展開



「母子モ」((株) エムティーアイ (連携H28.9~))

- ・チラシ、ポスターに各市町のキャラクター使用 (市町によっては、名称も変更し運用 : 以下例)



さがみはらアプリde子育て さがプリコ



はだのっこ



子育てアプリふじさわ



あいかわすくすく手帳

・・・etc

・24市町が利用

24市町 : 愛川町、伊勢原市、大井町、大磯町、開成町、鎌倉市、相模原市、寒川町、逗子市、中井町、二宮町、箱根町、秦野市、葉山町、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、松田町、山北町、湯河原町、横須賀市、三浦市、真鶴町、小田原市


マイME-BYOカルテと連携する電子母子手帳の展開

母子手帳




**母子健康手帳アプリ
ひまわりの会**

- **1市が導入**
南足柄市（連携H30.2～）



**子育てモバイル
（株）ミラボ**



- **2市が導入**
大和市、綾瀬市（連携H30.3～）
- 3市（厚木市、海老名市、座間市）は、別途導入

• 3市村：横浜市、川崎市、清川村は、その他取組または導入検討中

「マイM E - B Y Oカルテと連携する電子母子手帳」のメリット等

・ 乳幼児期から学童期までを通じた健康記録

電子母子手帳アプリで記録したお子さんの予防接種履歴などの健康記録は、「マイM E - B Y Oカルテ」に自動で記録され、さらに、**小学校で受診する健康診断のデータも「マイM E - B Y Oカルテ」で記録できる**ため、乳幼児期から学童期を通じ、お子さんの健康記録をデータで管理できる。

・ お薬情報などとも合わせた健康管理

「マイM E - B Y Oカルテ」は、お薬情報やアレルギー情報等、母子健康手帳に記載されない情報も**記録でき**、さらに効果的にお子さんの健康管理が可能。

・ 紙の記録が失われた際のバックアップ

「マイM E - B Y Oカルテ」に連携したデータは、災害時にも十分なセキュリティを有するサーバーで保管するため、**災害時などに紙の母子健康手帳が失われても、スマホ等から記録した健康情報を確認することが可能。**

3 問題と課題の提示

問題と課題の提示

・ データの自動連携

妊産婦健診や乳幼児健診など、マイナポータルに蓄積された母子関係のデータを自動連携されていない。

(課題の提示) マイナンバーカードを都度使用するのではなく、**一度アプリで認証したら二回目以降は簡単な認証で自動連携できないか。**

・ アプリ事業者間の引継ぎ

各基礎自治体ごとに異なる母子手帳アプリを導入しているため、引っ越しなどでアプリを乗り換えた時に、アプリ事業者間でデータを引き継ぐことができない。

(課題の提示) **標準データフォーマットを国などが定め、容易にデータの引き継ぎができないか。**

・ 紙の母子手帳との関係

現時点では、紙の母子手帳の代わりには使えない。

(課題の提示) **電子母子手帳を紙の母子手帳と同様の扱いにし、データフォーマットを標準化し、マイナポータルに保存して運用できないか。**